

能力向上を目指し研修会

石央の新入社員46人集い 江津 個人目標立て発表



「企業人として活躍する」とのテーマに基づき、個人目標を発表する参加者

当し、現在は江津市にUターンしITコンサルタントを手掛ける山藤昭彦さん(56)が講師を務めた。

山藤さんは個人目標の立て方について「目標を数値化し、具体的な達成方法を決めることが大事」と助言。

参加者は「立派な企業人になりきれない理由」について、「仕事の効率が悪い」「学生気分が抜けていない」と自己分析したうえで「作業効率を上げて商品生産個数を増やす」「担当するお客様の名前をすべて覚える」など個々の目標を発表した。

講義を終えた山藤さんは「定期的にこのような研修を実施し、人材育成を進めていくことが重要」と話した。

入社後半年の社員を対象とした石央地区新入社員合同研修会が18、19の両日、江津市松川町の県立少年自然の家で開かれ、参加者は「企業人として活躍する」とのテーマで個人目標を立て、企業に求められる人材となるため、能力向上を目指すことを誓い合った。

県立西部高等技術校(益田市)が主催し、江津市や浜田市などの24事業所から46人が参加。19日は、東芝プラントシステム(本社・横浜市)の元社員で、社員教育を担当